

# ボローニャ大学協定留学 月例報告書（1月）

芸術文化学科4年 土居優莉

## Buongiorno!

あけましておめでとうございます。芸術文化学科の土居優莉です。ボローニャでの生活もうすぐ折り返しです。初めは不安なことばかりでしたが、周りの人に助けてもらいながら今では毎日楽しく過ごせるようになりました。2023年も勉強を頑張つつ、新しい人との出会いを大切にしたいと思っています。



↑ 中国のお正月のお祝い

## お正月

2023年はSan Lucaという教会がある丘の上から初日の出を見るところから始まりました。早起きをして1時間弱歩いて見た朝日はとてもきれいでした。初日の出を見る習慣は日本以外の国にはあまりないそうで、一緒に行った友だちにとっては新鮮だったそうです。また、22日は中国のお正月だったので、中国出身の友だちに誘ってもらって中華料理レストランでお祝いをしました。私がいつも勉強しているDAMSのクラスメイトが20人ほど集まり、みんなで美味しい中華をいただきました。大学の授業や図書館でしか会ったことがない人もいましたが、ご飯を食べながらたくさん話をすることができました。お互いの国の食べ物や言語のこと、イタリアやヨーロッパの都市についての話でとても盛り上がり、そのままの流れで今度旅行に行こうという約束までできました。初めて話す人ともすぐに打ち解けてどんどん友だちの輪が広がっていく雰囲気がとても好きです。

## 大学の授業とイタリア語

楽しい冬休みも終わり、大学では1月末から新しい授業が始まりました。今は音楽史や現代アート、エンターテインメントについての授業を受けています。以前よりもわかるイタリア語が増えてきて楽しいと感じることが多くなってきました。しかし12月にイタリア語の授業が終わってから、イタリア語を学ぶ機会をどのように自分で増やしていくかが課題でした。その中で、授業で教えてくださった先生が今でもチャットで質問に答えてくださったり、勉強法や本、ラジオ、映画などのお勧めを定期的に教えてくださったりしています。また、ボローニャの市立図書館で行われている言語学習のプログラムを活用し、ネイティブスピーカーの方と話す機会を作っています。友だちと話すこともとても重要ですが、間違った文法を訂正してもらいながら話す機会も必要であると思うので、引き続き取り組んでいこうと思います。

## 今月のオペラ

1月のオペラは、ワーグナーの DER FLIEGENDE HOLLÄNDER でした。昨年から始まった市立歌劇場の改修工事のため今回も別の劇場での上演となりました。かなりシンプルな舞台装置や衣装や、壮大な映像とオーケストラとの組み合わせが印象的で、現代的な劇場の雰囲気にも合っていました。来月の演目はいよいよ、待ちに待った蝶々夫人です。



↑ 劇場の様子

## 今月のプチ旅行

今月はシエナとヴェローナに行きました。まずシエナは、フィレンツェの近くにあるプラートという街に住んでいる友だちに案内してもらいました。シエナは日本の大学の授業で見せてもらってからずっと行ってみたいと思っていた街だったので、実際に歩きながら Piazza del Campo（カンポ広場）を見たときにはとても感動しました。また、レストランで食事をしていたとき、突然奥の方から大勢の歌声が聴こえてきて、気がつくとお店にいたすべての人が楽しそうにナポリの民謡を歌っていました。どうやらナポリから来たグループの中のひとりがお誕生日だったようです。何が起きたのかわからないくらい突然の出来事だったので驚きましたが、知らない人どうし

と一緒に盛り上がるという日本ではできない貴重な経験をすることができました。

翌週にはヴェローナに行きました。ヴェローナは、今までに出会った友だちみんなが絶対に行くべきだと教えてくれていたのでとても楽しみにしていました。ロミオとジュリエットの舞台となったことで有名なこの小さな街にはたくさんの観光客が訪れていましたが、雰囲気は落ち着いていて居心地が良かったです。有名なアリーナでは夏の期間に野外でオペラを観ることができるそうなので今度は夏に行ってみたいです。



↑ シエナでの様子

## おわりに

12月の終わりに引き続きたくさんの友だちと会っていろんなところに行っても楽しい冬休みでした。今月からは新しい授業も始まったので、自分から積極的に動いて新しい人ともたくさん話したいです。

今月もありがとうございました。